

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	NPO法人こらぼねっと京都 こらぼねっと京都自立支援センター（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2024年12月1日 ～ 2025年1月20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2024年12月1日 ～ 2025年1月20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	クラス制なので、同じ課題に向かえる人でグループが構成されている。同年齢の人と関わられるようにしている。	小集団で活動する中で課題に差がある時は、個別に対応している。	保護者から情報を得るようにし、共有を心がける。
2	指示ではなく提案をし、自己選択、自己決定を促している。	困っていることを言葉で伝えられるような練習をしている。 その場面に合った言い方や言葉の選び方などの見本を示したり、一緒に考えている。	送迎時に子どもの変化や成長を保護者に伝えるようにしている。家や学校での困りごとがあれば、随時面談を受け付けている。
3	制作、料理、学習などの活動を繰り返すことで、ひとりでする力を育てている。達成感、自己肯定感を高め、意欲や期待を持って活動する力を育てている。	その人を受容することで、その人なりの参加の仕方を大切にしている。	その人をよく観察し、意思を尊重しつつも、本人の成長を促す関わりを模索する。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	多くの保護者の要望がないため、保護者会はない。 保護者全体が集う場は設けていない。	保護者同室での療育内で保護者同士の話し合える場を設けている。	保護者の要望があれば、保護者が悩みを相談し合える機会を作るよう検討する。
2	家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング）や家族等も参加できる研修会や情報共有の機会がほぼない。	誰でもが参加できる音楽活動の定例会を月1回行なっているが、周知されていない。 家族支援は個別に行っている。 集団でのペアレント・トレーニングは行っていない。	誰でもが参加できる音楽活動の定例会について、周知する。 家族支援に関しては、今後も個別に対応する。
3	放課後児童クラブや児童館との交流など、地域で他の子どもと活動する機会はない。	週1回の療育の中では、地域との交流の機会を作ることは難しい。	今後も予定はしていない。